

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18037	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	公衆衛生学 (Public Health)				
担当教員名	高木 晴良				
授業の概要及び到達目標					
<p>公衆衛生の理念と目的、集団における健康問題に関する予防医学、社会医学の役割と実際について学修する。授業内容にはわが国の保健統計指標の動向や意義、疾病予防、健康の維持増進、健康管理、産業保健、環境衛生に関する事項のほか、食品衛生や感染症の予防など衛生学の基礎知識に関する内容も含む。また、環境と生活者の健康の観点から、環境汚染及び職業性疾患とその対策などを取り上げる。</p>					
準備学習等					
<p><b>予習</b> 事前に、テキストの該当章を良く読み、自分でまとめるなどして、ある程度理解しておくこと。</p> <p><b>講義</b> テキストに出てくるキーワードの確認、重要ポイントの説明と関連事項の紹介をするので、必要事項は各自メモすること。なお、疑問点等がある場合には、毎回行うミニレポートに記載すれば、個別にメールで回答する。</p> <p><b>復習</b> 講義で新しく得た情報を、なるべくその日のうちにまとめて確認しておくこと。 その週に学習する「地域看護学」の講義内容とオーバーラップしているので、予習になるはずである。</p>					
成績評価の方法	毎回講義時に行うミニレポート（3点×15回）＋期末テスト（55点） （無断欠席は減点されるので、事前に届け出ること）				
テキスト	「わかりやすい公衆衛生学（第3版）」 （清水忠彦・佐藤拓代 編：ヌーヴェルヒロカワ）				
参考図書	「国民衛生の動向」（厚生労働統計協会） 「図説 国民衛生の動向」（厚生労働統計協会）				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義時のミニレポートによる質問の他に、直接メールによる質問も随時受け付けるので、予習・復習時でも不明な点があれば、気軽に連絡すること。</li> <li>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</li> </ul>				

## 授 業 計 画

第1回:公衆衛生の概念、健康の指標	(テキスト:第1章、第3章)
第2回:母子保健	(テキスト:第9章)
第3回:学校保健	(テキスト:第10章)
第4回:生活習慣病、ヘルスプロモーション	(テキスト:第11章I項、第12章)
第5回:産業保健	(テキスト:第14章)
第6回:精神保健、難病	(テキスト:第13章、第11章II項)
第7回:感染症	(テキスト:第4章)
第8回:地域保健活動(特に災害保健について)	(テキスト:第8章)
第9回:食品保健と栄養	(テキスト:第5章)
第10回:健康と環境、疫学的方法	(テキスト:第2章)
第11回:生活環境の保全	(テキスト:第6章)
第12回:地域保健活動(特に医療サービスの供給体制と保健・医療従事者について)	(テキスト:第8章)
第13回:医療の制度	(テキスト:第7章)
第14回:これからの公衆衛生(特に国際協力について)	(テキスト:第15章)
第15回:まとめ	